

平成27年(2015)3月3日～5日

平成26年度(2014)

第4回出雲市議会(定例会)
一般質問通告一覧表

平成26年度（2014）第4回出雲市議会（定例会）
 一般質問通告一覧表 目次

3月3日（火） 10:00 開会			3月4日（水） 10:00 開会			3月5日（木） 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	飯塚 俊之	3	1	湯浅 啓史	8	1	渡部 勝	13
2	珍部 全吾	4	2	板倉 明弘	9	2	小村 吉一	14
3	米山 広志	5	3	井原 優	10	3	神門 至	15
4	勝部 順子	6	4	大谷 良治	11	4	板倉 一郎	16
5	大場 利信	7	5	原 正雄	12	5	寺本 淳一	17

質問者	13	飯塚 俊之	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 改正省エネ法への対応状況について		市長	
<ul style="list-style-type: none"> ① 特定事業者として管理している事業所（市長部局・水道局・教育委員会）のエネルギー使用量と施設数 ② 国から求められている年1%以上の省エネ推進義務達成への取組状況と達成度 ③ 中長期計画の要点 ④ 電力のピークカット・ピークシフト対策 			
(2) 新エネルギーの推進及び利活用策について		市長	
<ul style="list-style-type: none"> ① 本市の新エネルギー政策の現状と今後の取組 ② 水素エネルギーの利活用策 			

質問者	32 珍部全吾	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者 記事
(1) 火災発生時の消防署の情報提供について		
<p>① 昨年9月23日早朝、塩冶地区にて発生した火災について23日朝消防署に火災発生地について問い合わせたところ、個人情報として発生地の情報提供を拒否されました。</p> <p>ア 火災情報の提供が個人情報の保護にあたるのかどうか？</p> <p>イ 同じ地域の住人として知人・友人等の安否を気遣うのは当然と思うが・・・</p> <p>② 今年1月21日、平田の万田町の火災について〈速報〉として不思議なFAXが送付されてきた件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 17時15分現在の時点で鎮火時刻が17時35分と明記されている点 ・ 鎮火以前に20代女性の死亡確認がされている点 <p>この様な消防署の対応について市長の所感を聞かせて下さい。</p>		市長
(2) 学校統廃合と公共施設の見直しについて		
<p>① 文部科学省は、今年1月19日公立小中学校の統廃合に関する基準の見直しをしました。</p> <p>ア 市内で該当する小中学校はあるのかどうか？</p> <p>イ 現在建設中の佐田中学校は、全校で3学級になってしまい、国の指導『課題があり学校統合等の適否を速やかに検討』に当たると思うが市長の見解は？</p> <p>② 公共施設の見直しについて市の現在の所感</p> <p>ア 温泉施設等の廃止が簡単に出来ると考えているのかどうか？</p> <p>イ 使用者の意見をもっと聞くべきと思いませんか？</p>		市長

質問者	27 米 山 広 志		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求める者	記 事
(1) 出雲市の雇用情勢		市長	
① 求人倍率 ② 若者の就職状況			
(2) 十間川・九景川の改修		市長	
① 両河川の事業の進捗状況 ② 今後の改修計画			
(3) 市所有の土地使用		市長	
① 社会福祉法人が市所有の土地を使用している法人数 ② 使用している土地に対して減免されている法人数と借地料を支払っている法人数 ③ その土地は全て財産に関する調書に記載されているか。			

質問者	26 勝部 順子		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 子育て支援について (幼稚園)			
<p>① 施政方針で、中央幼稚園に加え今市幼稚園においても、特別に支援を要する児童の受け入れ枠を設けて、特別支援教育の充実に取り組むことを表明されました。幼稚園の存続が危ぶまれる今日、幼稚園の存続発展を願って、塩冶自治協会・塩冶幼稚園運営協議会・塩冶幼稚園愛育会の皆さんから、要望書が提出されました。</p> <p>ア 今後の、特別支援教育の全市内への展開について考えを伺います。</p>		子育て調整監	
(2) 母子保健対策			
<p>① 不育症の方を対象に、創設される治療費助成制度の詳細について</p> <p>② 親子のきずなはぐくみ事業（新規事業）の詳細と期待できる効果について</p>		健康福祉部長	
(3) ALS 筋萎縮性側索硬化症対策の現状と課題について			
<p>① ALS（筋萎縮性側索硬化症）患者さんへの支援策</p> <p>② 若年の患者さんへの支援について</p>		健康福祉部長	

質問者	9 大場利信	答弁を 求める者	記事
質問事項・質問内容			
(1) 集積した医療・福祉施設を人口定住総合戦略に活用すべき		市長	
<p>① 一例として市立総合医療センターにおける職員及び医療関連ビジネスに携わる人々のおおよその人数はいくらか。</p> <p>② 医工連携に関し、昨年の施政方針質問の答弁で「ニーズ調査をし、新たな医療・福祉機器や地元食材を活用した機能性食品の開発に取り組む」とのことであったが、その後の状況を伺う。</p> <p>③ 薬草の実用化の取り組みが模索されていると聞いているがこれについて伺う。</p> <p>④ 医療ツーリズムに関し、尾道松江線の開通など交通アクセスも改善され、安心と癒しの環境に恵まれたこの出雲市での医療や健診を受けることの効果をPRすべきと考えるがこれについて伺う。</p> <p>⑤ 出雲市内での医療情報ネットワーク「まめネット」の普及率（加入率）について伺う。</p> <p>⑥ 関係者との連携への努力が欠かせないが、これについて伺う。</p> <p>⑦ 最後に本市の医療や福祉施設を活かした人口定住策を総合戦略の政策パッケージとして取り上げるべきと考えるが、これについて伺う。</p>			
(2) 古代山陰道（杉沢遺跡道路遺構）と人口定住総合戦略について		市長	
<p>① H26年度から6年間かけて調査をするとのことであるが、調査の主眼は何か。</p> <p>② 今後の活用についてどのような考えか。</p> <p>③ 出雲の歴史・文化遺産を「日本遺産」に認定し、この地域を世界に発信する旨が施政方針に述べられているが、この古代山陰道もその一つとして位置付けるという構想があるか。</p> <p>④ 2月15日のシンポジウムに主催者として出席された副市長の感想を伺う。</p> <p>⑤ 全国的にも注目されている連綿としてつながる古代出雲の文化財の発掘・調査・研究に、全国の学生や研究学徒を招き、交流人口の拡大、更には定住化につなげるよう人口定住総合戦略の政策パッケージとして取り上げるべきと考えるが、その意向を伺う。</p>			
(3) 高齢者クラブ（老人クラブ）について		健康福祉 部長	
<p>① 出雲市における斐川町合併時点から今日までの高齢者クラブの数と会員数の状況について</p> <p>② 高齢者クラブへの市補助金の取扱いがH27年度から改正されるが、その理由と改正内容について</p> <p>③ 今後の高齢者クラブへ期待することについて</p>			

質問者	3 湯 浅 啓 史	答 弁 を 求 め る 者	記 事
質問事項・質問内容			
<p>(1) 中海・宍道湖・大山圏域で進める海外誘客について</p> <p>① 中海・宍道湖・大山圏域市長会について ア 目的は何か イ 中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会との関係 ウ 現時点での成果は何か a ビジネスマッチング b 観光施策 c その他 エ 中海・宍道湖・大山圏域市長会での海外誘客検討内容</p> <p>② 出雲市の海外誘客施策について ア 出雲市独自の施策にはどのようなものがあるか イ 中海・宍道湖・大山圏域市長会での海外誘客検討と出雲市の海外誘客施策との整合性 ウ 日本遺産（歴史・文化遺産）へ向けた取り組みと海外誘客の可能性 エ 策定予定の「出雲市総合戦略」の柱になり得るのか オ 外国籍で出雲市在住の方々との連携</p>		市長	
<p>(2) 空き家対策と空き家活用について</p>			
<p>① 空き家に関わる市の窓口として整備される、縁結び定住課の定住推進事業で進めるワンストップサービスと、防災安全課の空き家対策事業で進めるワンストップ窓口について ア 対応窓口のワンストップ化（ワンストップサービス）とは何を指すのか イ 2つのワンストップ窓口の違いは何か ウ 具体的にそれぞれの窓口はどこに置かれるのか</p> <p>② 空き家対策事業で整備される「空き家台帳」について ア 何が記載されるのか イ 何を目的に使用されるのか</p> <p>③ 定住推進事業で進められている「いずも空き家バンク」について ア その仕組み イ 実績 ウ トラブル対応</p>		市長	

質問者	25 板倉明弘		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 地域包括ケアシステムの実現に向けての現状と課題について		市長	
① 出雲市らしい地域包括ケア推進の取り組みスケジュールを伺う。 (コミセン単位、中学校区単位、旧自治体単位、全市域) ② 第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画で推進する重点5項目の現状と課題について伺う。			
(2) 貸し切りバスの新たな運賃・料金制度による影響と対応策について		市長	
① 新運賃制度によるスクールバス委託料や運行等への影響状況を伺う。 ② 27年度事業における関係予算の増加額と対応策を伺う。 ③ 小中学校の修学旅行等における影響額と今後の対策を伺う。			
(3) 地酒で乾杯条例制定後の状況について		市長	
① 条例制定の周知や普及促進への広報活動の取り組みと実施状況、市民の反響を伺う。 ② 市の役割、事業者の役割の取り組み方策を伺う。			

質問者	10 井原 優		答 弁 を 求める者	記 事
質問事項・質問内容				
(1) 介護保険制度について				
<p>① 第6期の介護保険料が示された。今、市民の生活が逼迫する時、基金などを取り崩して、保険料の引き下げ、減免制度の充実等を求めるが、いかがか伺います。</p> <p>② 政府は介護職員の「処遇改善」措置を講じてとしている。一方、介護報酬全体は、2.27%引き下げられ、事業所経営が苦しくなり、サービスの質の低下をもたらすことは必至です。介護報酬の引き下げをどのように認識しているか。また、国に対して介護報酬の引き下げの中止を求めるべきと考えるのがいかがですか。</p> <p>③ 特養の入所は「要介護3以上」に限定されます。そこから排除される低所得者への対応はいかがされるのか伺います。</p>			市長	
(2) 国民健康保険の改善を求める				
<p>① 国保料は、年間所得200万円台の4人家族に40万円を超える負担を強いるなど住民の支払い能力は限界を超えています。本市は、1人当たり調定額では、2013年度で90,470円であり松江市に次ぎ2番目に高い保険料です。払える保険料にするために、基金の取り崩しや一般財源の投入により保険料を下げる考えはないか伺います。</p> <p>② だれでも安心して医療が受けられるよう求める。</p> <p>ア 保険料を滞納している世帯は何世帯か。(本市の被保険者数、世帯数はいくらか)</p> <p>イ 「短期証」「資格証」の発行世帯数はそれぞれ何件か。</p> <p>ウ 国保法第44条に基づく一部負担金の減免制度の適用件数は何件か。</p> <p>エ 以上のような現状の中で、市は更なる改善に向けてどのような施策を講じようとしているのか伺います。</p>			市長	
(3) ごみの分別とリサイクル化について				
<p>① ごみの排出量(可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみの合計)とリサイクル率の推移を伺います。</p> <p>② 減量、分別、再資源化の現状と今後の課題は何か伺います。</p> <p>ア 本市は、「ごみゼロ社会」をめざし、3Rを推進しているが実績と課題は。</p> <p>イ 家庭からの生ごみの堆肥化がごみの減量に効果的であるが実績と課題は。</p> <p>③ 市民の参加、協力で、減量化、分別、再資源化などについてどのように推進を図ろうとしているのか伺います。</p>			市長	

質問者	1	大 谷 良 治	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 地方創生について		市長	
<ul style="list-style-type: none"> ① 出雲市に住む若い世代、特に子育て世代に対して市長の思いを伺う ② 人口減少・流出に対してどのような対策が必要であるか伺う ③ 県・市長会との連携について 			
(2) 消防団員確保対策について			
<ul style="list-style-type: none"> ① 市として持続可能な消防団をつくるために必要なことは何か伺う ② その後の団員確保対策の状況について伺う 		市長	

質問者	8 原 正 雄	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者
(1) 神戸川再生について		記 事
<p>① 神戸川の潮発電所水利使用期限から2年経過しているが、関係機関との調整はどのような状況か伺います。</p> <p>② 市長は通年2.0tを放流し10年後の状況を見極めたうえで判断すると答弁され分水を中止するとの明言はされていませんが、その理由を伺います。</p> <p>③ 島根日日新聞の中尾繁先生の5回に亘る「神戸川の分水」の投稿について市長の所感を伺います。</p> <p>④ 昨年のような少雨の場合、志津見ダムの調整を行っても2.0tの通年放流では下流の取水制限を考えねばならない事態が起こります。通年の放流量を大きくする必要がありますが伺います。</p> <p>⑤ トキと共生する地域づくりを目指すとっておられますが、十間川、神西湖の水環境と神戸川をどのように関連づけておられるか伺います。</p>		市長

質問者	6 渡 部 勝	答 弁 を 求める者	記 事
質問事項・質問内容			
<p>(1) 出雲市職員の人材育成方針について</p> <p>① 出雲市はいま行財政改革、少子高齢化による人口の変化特に中山間地域、海岸部等における人口減少の加速化など大きな課題に直面しています。国においても「地方創生」を旗印に人口減少問題、地域特性を活かした地域振興が求められようとしています。 これらの政策課題を解決していくうえでの市長のリーダーシップは重要であるのはもちろんですが、職員の能力、高い意識が非常に大切になってきていると考えます。 そこで次の質問をいたします。</p> <p>ア 出雲市職員に対する「人材育成基本方針」は策定されているのか。策定されていないとすればその理由は。</p> <p>イ 市長は望ましい職員像をどう考えているのか。また職員に求める能力は何が一番必要か。</p> <p>ウ 望ましい職員像、能力を形成するために職員研修はどのように実施されているのか、また効果は検証されているのか。</p> <p>エ 自己啓発の促進はどのようにおこなわれているのか、また市民との協働の観点からNPO等に参加し地域づくりを行っている職員数とその内容は。</p>		市長	
<p>(2) 出雲市総合戦略として「地域活性化総合特区」を</p>			
<p>① 昨年公表された増田リストによって地方の人口減少問題への関心が急速に高まり、まち・ひと・しごと創生法など地方関連2案の成立につながりました。 出雲市は幸いにも消滅自治体リストからは辛うじて外れたものの依然厳しいことには変わりはありません。特に南部の山間地域、あるいは海岸部の漁村地域の人口減少は深刻な問題です。出雲市の人口現状分析をおこなった結果を市としてどう受け止めておられるのか次の点について質問いたします。</p> <p>ア 人口減少が著しい地区について要因は何だと考えられるか</p> <p>イ このことについて市としてどのような施策をとっていかれるのか</p> <p> a 雇用対策</p> <p> b 少子化対策</p> <p> c インフラ整備</p> <p> d 産業の振興</p> <p>ウ この危機をチャンスと捉えて大胆な施策を考える時ではないか、特に地域活性化、定住対策として南部をエリアとし森林再生を中心とした地域活性化総合特区を設けたらどうか</p>		総合政策 部長	

質問者	15 小村吉一	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者
(1) 市民に負担を強いる補助金、使用料などの見直しを問う		記事
<p>① 使用料の見直しについては、「議会で承認されれば、各施設に掲示するとともに、市ホームページや広報紙などで住民に周知を図り、混乱しないようにしたい」という主旨の答弁が12月議会の一般質問であったが、住民への周知は当然のこと、見直しを計る時、使用料はもとより、とりわけ補助金などについては、該当の市民または、組織、時には広く市民にその意図を事前に投げかけ、一定の合意または了承が肝心だと考えるが、どうであったか伺います。</p> <p>② 「出雲市行政改革大綱」の「第1期実施計画」の中の行政が関与する補助金等のあり方及び交付ルール適正化のものさしの中に「受益者等が限定的な補助金等や個人の資質、資産価値の向上に資する補助金等の見直し」とあるが、1例として伺う。誘致企業に対する各種の多額の補助金もこのものさしに該当すると思われるが、なぜ見直し（縮減または廃止）を行わなかったかその理由を伺います。</p> <p>③ 市民の生活が逼迫する今、住民への十分な説明を行わず、市民の生活に直結する補助金の廃止、縮減、使用料や手数料の値上げなどは、住民の市政参加への意欲を削ぎ、不満、不信を募らせるのではないかと考えるがどうですか。</p>		市長
(2) 学校校務員の待遇改善を求めて		
<p>① 学校校務員の再任用が3年間と限定され、再公募という形になったが、その意図、理由は何か伺います。</p> <p>② 学校校務員は、学校教育の中でどのような存在であるのか、またあるべきと考えるのか伺います。</p> <p>③ 学校校務員の身分は、その役割と存在を考える時、以前のように正職員であるべきと考えます。改善の意図はないのか伺います。</p>		教育長

質問者	4 神 門 至		答 弁 を 求 め る 者	記 事
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容				
(1) 出雲市の子育て支援策について			市長	
<p>① 第3子以降の保育料無料化の見直しについて</p> <p>ア 今回の制度の見直しについて、どのように保護者を中心として説明責任を果たされてきたのか伺います。</p> <p>イ この多くの不安と不満の声に、どのように対応されていくのか伺います。</p> <p>ウ 今回の制度の見直しを撤回される考えはないのか伺います。</p> <p>② 市独自の子育て負担軽減策について</p> <p>ア 将来にわたる子育て負担軽減策をどのように考えているのか。行革の中で廃止・縮小の方向なのか。また、幼稚園・保育所の経営支援を含めた全体的な施策の考え方について伺います。</p> <p>イ 限られた子育て負担軽減策に関わる財源を、どのように広く公平に分配し、各世帯への負担を平等にしているのか。また、今後の幼稚園・保育所の運営費負担など、今後の見通しを含めた関連予算の考え方について伺います。</p> <p>ウ 今後、保護者などを中心に、出雲市の「子ども子育て支援事業計画」をどのように広く周知し、理解を得ていく考えなのか伺います。</p>				
(2) 出雲市の公共施設の見直しについて			市長	
<p>① 市全体の公共施設はいくつあるのか伺います。</p> <p>② その中で、第一次見直し対象の203施設について、どのように統廃合や譲渡などの方向性を検討されているのか。これまでの施設管理の状況や解体予定の考え方を含め伺います。</p> <p>③ また、その考え方について、どのように施設周辺の地域へ説明され、意見反映していく考えなのか伺います。</p>				
(3) 学校給食の地産地消について			教育部長	
<p>① 学校給食地産地消推進ネットワーク会議について</p> <p>ア これまでの経過や課題などについて伺います。</p> <p>イ 今後の会議のあり方などについて伺います。</p> <p>② 学校給食において、どのような食育教育がなされているのか伺います。</p> <p>③ また、将来を見据え、どのような消費者教育がなされているのか伺います。</p>				

質問者	20 板倉一郎		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 子ども・子育て支援の充実について		市長	
<ul style="list-style-type: none"> ① 市の子ども・子育て支援の考え方を伺う。 ② 具体的な施策と予算の規模、また過去数年の傾向について伺う。 ③ 第3子以降保育料無償化の見直しについて伺う。 <ul style="list-style-type: none"> ア 見直しの理由 イ 見直し後の保育料の水準および多子世帯の負担軽減策は、どうなるのか伺う。また、個人で、どのくらいの負担増になるのか伺う。 ④ 子育て世帯の生活実態や所得に応じた、きめの細かい支援を検討すべきと考えるが、市の考えを伺う。 			
(2) 自治会の支援について		市長	
<ul style="list-style-type: none"> ① 自治会の現状と課題について伺う。 ② 現在ある自治会への支援について伺う。 ③ 自治会未加入世帯への加入促進について、どのように考えているのか伺う。 			

質問者	5 寺本 淳一	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者 記事
(1) 新教育委員会制度について		
<p>① 昨年6月の参議院本会議で成立した新教育委員会制度は</p> <ul style="list-style-type: none"> ①教育行政の責任の明確化 ②総合教育会議の設置 ③国の地方公共団体への関与の見直し <p>など、大きく3つのポイントがあります。そこで伺います。</p> <p>ア 法改正によるこの新しい制度に対しての所感は。</p> <p>イ 新制度の課題またその効果は。</p> <p>ウ 総合教育会議では重点的に講ずべき施策など様々な事項についての大綱を策定するようになっているが、現在の第2期出雲市教育振興計画の内容が変わってくるのかどうか。</p>		教育長
(2) 定住対策について		
<p>① 定住支援の一つとして「いずも空き家バンク」の情報を提供されています。昨年10月末で家屋は96件、土地は32件登録され、その内68件と20件の成約となり、一定の成果が出ていますが、今後更に情報を拡大し、発信していく必要があります。そこで伺います。</p> <p>ア 空き家や耕作放棄地はどのように情報収集されているのか。また登録方法は。</p> <p>イ 市内で登録されていないが、少し手を加えると十分に住むことができる空き家は何戸あるか。また耕作放棄地の地域別の数はいくらか。</p> <p>ウ Uターン・Iターン者は農業を経験したい人も多いと聞きます。家と土地だけでなく、耕作放棄地もセットで登録し情報発信できないか。</p>		市長